

第3回（仮称）藻岩・啓北商業再編新設校校名検討委員会 議事録

1 日 時 令和7年9月11日（木）16時00分～17時00分

2 場 所 市立札幌藻岩高等学校 1階 大会議室

3 出 欠 (1) 出席 委員 10名
事務局 6名
(2) 欠席 委員 1名

4 議 事

- (1) 校名候補について
- (2) 校名の選考
- (3) 選考理由について

【開 会】

第2回会議での承認に基づき、非公開とする。

以下、非公開

【議 事】

(1)について事務局から説明

（概 要）

○5点の校名案について特許庁・文化庁・市法制課に権利関係の確認を行った結果、大きな問題はないとの回答を得た。

(2) 校名の選考

【主な意見】

- ・今までにない名称が良いのではないか。
- ・資料の選定理由から、『共創』『拓嶺』『彩輝』はスクール・ミッションに由来し、『翠嶺』『緑豊』は自然や立地に関係している校名だと考える。前回の会議での方針から、スクール・ミッション由来のものが良いのではないか。
- ・紛らわしい校名は避けたほうが良い。
- ・同名校がないほうが良い。また、漢字の画数についても考慮すべきだと考える。
スクール・ミッション由来の『彩輝』は、響きや漢字の雰囲気が良い。「さいき」という響きからは、もう一度チャレンジする「再起」という言葉も感じられる。
- ・部活動の応援などでも使いやすく、覚えやすい校名が良い。『翠嶺』や『拓嶺』はどちらも素敵だが、響きが似ている学校が既にあるので他と被ってしまう。
- ・『翠嶺』は藻岩地区のイメージに合っていると感じる。

- ・『彩輝』は「多彩な未来を自分たちの手で創れる」という新設校のスクール・ミッションをイメージしやすく、それぞれの個性が輝く高校のイメージに合うと考える。

- ・『共創』と『緑豊』は同名校が存在するため、新しい学校をつくるという観点から見ると、新鮮さに欠ける印象がある。

- ・新しい学校や新しい考え方という観点から前回選んだので、候補に挙がっている5案の中でどれが選ばれても良いと感じている。同名校を避けたいという意見には共感する。

- ・地域に新たに誕生する学校として、直接的な地名を使わずとも、地域のイメージが自然と連想されるような要素も大切にしたいと考える。

- ・学校に通う生徒が、親しみ、誇りを持つことができる校名であることが最も重要だと思う。生徒の意見をできるだけ反映する方向が望ましい。『彩輝』という名前は、未来ある若者たちが希望を持てるような校名としてふさわしい。将来を担う生徒たちのために、前向きで夢のある名称を選ぶことが大切だと考える。

意見交換後、投票を行い、次の結果となった。

彩輝…7票

翠嶺…3票

共創…0票

拓嶺…0票

緑豊…0票

(3) 選考理由について

教育長へ手交する意見書に記載する『彩輝』の選定理由について、添付資料に記載された選考理由に基づき審議を行った。

【主な意見】

- ・『彩輝』は彩り輝きある未来という明るいイメージがある。「さいき」という響きには、何度でも挑戦し再起できるという前向きなメッセージを感じられ、未来ある子どもたちへの励ましになる。

- ・『彩輝』は生徒自身が学校生活の中で自分なりの色や想いを重ねていくことができる校名だと思う。

- ・学校という場は皆が同じことをするという側面があるが、社会が多様化していく中で、子どもたち一人ひとりが自分の色や良さを発揮できる環境がより重要だと感じる。特に中高生は皆と同じでいたいという気持ちが強い時期であるが、それを乗り越えて、それぞれの個性を伸ばし、自分自身が輝けるような学校であってほしいと願う。

- ・普通科と商業科が併設される新設校において、『彩輝』は様々な個性や価値観を尊重し合える前向きな校名だと思う。多様性の中で互いを認め合い、充実した高校生活を送ってほしい。

・今の時代に合った人間性を育てることが大切だと思う。『彩輝』にはそうした意義があり、先生方もそれを生徒に伝えてほしい。柔軟で豊かな未来を創れる生徒が育ち、学校の評価やレベルアップにも繋がることを願っている。

・普通科と商業科の生徒が共存することで必ずメリットが生まれると思う。『彩輝』という名前は、高校生に望む姿を象徴していて素敵だと感じた。

・様々な色が輝くという、多様性を象徴している校名に感じた。色が混ざり合い新しい色を生み出すように、多様な生徒たちが集まり共に成長できる、意味の広い良い名前だと感じる。

・願いとしては心美しく感性豊かな人になってほしい。明るく前向きに生きることが、この校名の目的だと思う。

・「青春の輝き」という表現を、「個性を認めて、自分らしく輝ける」というような表現にしたほうが込めた願いが伝わると思う。

・「学校づくりを進めている」という表現を「目指している」とした方がわかりやすいのではない。また、「光輝く多彩な」という表現は、一人ひとりの個性を指し、新しい学校でその多彩な未来を創っていくという意味合いで伝えると良いと考える。

・高校での3年間の学びを土台として、その後の社会で活躍する人材を育てるという未来志向の部分も入れたほうが良いと考える。

・「未来を切り拓く」という言葉を入れたほうが良い。

・長年スクール・ミッションが使われることを鑑みると、「容易に想像できる」という表現は時間軸に違和感がある。

・「個性を活かし、自分たちの色を創り上げていく」というようなニュアンスの言葉を入れてはどうか。

・選定理由の中に「彩り輝く」という言葉をどこかに入れたい。

委員から出た意見を事務局が取りまとめ意見書を作成し、12日に検討委員の代表者3名が教育長に意見書を手交することが了承され、閉会

(17時00分閉会)